

教科	工業	科目名	建築設計製図	単位数	2
学科	建築科	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	建築設計製図 (実教出版)				
副教材など	新しい建築製図 (学芸出版) 補助プリント				

1. 科目の目的

- ①製図に関する日本工業規格及び建築製図について基礎的な知識と技術を習得することをめざす。
- ②建築設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を身につけることをめざす。

2. 授業の内容と進め方

建築構造で学習した事項と関連付けを行い、各項目と連携をとり建築物の完成工程・流れ・各種工法等を理解させる。また、各種資格試験の取得にもつながる技術・知識も習得させる。

3. 学習する上での留意点

巨大な建築物も、一本一本の線によって創造されていくのですから、一本一本の線の意味を知り、一本一本の線を描く心を育成する努力を根気強く指導していきます。

4. 課題等について

各課題ごとに、学習到達目標に達しない生徒は、補習を実施します。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	建築設計製図に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	建築設計図を正しく読み、総合的に判断できるか。
技能	建築設計製図面を構想できる技術を身につけ、設計の過程から結果までを的確に表現できるか。
知識・理解	建築設計製図の規格や図面の表し方を理解し、知識を身につけているか。

6. 評価の方法

成績評価の方法

- (1) 出席状況
- (2) 授業の取り組み状況
- (3) 各種製図のトレース課題
- (4) 製図の自由課題などにより総合的に判断する。

《指導計画》 科目名 建築設計製図

2 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	(1)木構造 ・各伏せ図	木造の建築物、設計順序、方法を理解できる。 木構造の建築物、設計順序、方法を理解し、 設計する技術を身につけることができる。	課題提出
	5	・断面詳細図	各詳細図の模写を通して、施工の方法を理解 できる。	
	6			
	7	(2)鉄筋コンクリート造 ・配置図、1階平面図	鉄筋コンクリート造の建築物、設計順序、方法 を理解できる。	
		・立面図、断面図		
	9	・断面詳細図		
	10	・ディテール	各詳細図の模写を通して、施工の方法を理解 できる。	
二 学 期	11	(3)鉄骨造 ・平面図	鉄骨造の建築物、設計順序、方法を理解 できる。	課題提出
		・断面図		
	12	・立面図		
		・断面詳細図	各詳細図の模写を通して、施工の方法を 理解できる。	
三 学 期	1	・軸組図		
	2	(4)木構造 ・平面図		
	3	・断面図		